

日本鳥学会会員の皆様、こんにちは。野鳥研究会です。こちらはそろそろ秋の気配です。8月末には、網走市街地より北に位置する常呂丘陵に、V字型になったヒシクイの群れが渡来しました。キャンパス内の樹木は早くも色づいています。皆さんが来られる頃には、丸坊主ですね。

さて今回は、気軽に訪れることのできる網走周辺の鳥見スポット（第二弾）です。



<網走市周辺鳥見スポット第二弾>

●濤沸湖

2005年にはラムサール条約にも登録された、白鳥の湖として有名。読み方は「とうふつこ」で、アイヌ語で沼の口を意味する「トープツ(to-put)」を語源とします。オホーツク海に面した遠浅の湾が成長し、砂州に塞がれて誕生した、周囲 27.3 km、総面積 900ha の汽水湖です。四季を通して約 250 種もの野鳥が訪れる国内有数の渡り鳥の中継地で、近年では特定地域への立ち入りを制限する自主ルールも策定され、水鳥類の楽園となっています。

JR 網走駅から網走バスで約 30 分「白鳥公園入口」下車、徒歩 5 分ほどで白鳥公園に隣接した濤沸湖水鳥・湿地センターに到着します。または、網走駅から白鳥公園まで徒歩 10 分ほどの「北浜駅」まで釧網線に乗車すると、北国情緒あふれる車窓からオホーツク海の眺めが楽しめます。水鳥観察は湖東の白鳥公園と、道道 467 号にある湖西の平和橋がおすすめです。

* 濤沸湖水鳥・湿地センター https://www.city.abashiri.hokkaido.jp/230boen_kankyou/tofutsu-ko/

<学会期間に観察が期待される鳥>

ヒシクイ・マガン・ハクガン・シジュウカラガン・オオハクチョウ・ヒドリガモ・アメリカヒドリ・マガモ・オナガガモ・コガモ・ホシハジロ・オカヨシガモ、ヨシガモ・キンクロハジロ・スズガモ・シノリガモ・ホオジロガモ・ミコアイサ・カワアイサ・ウミアイサ・カイツブリ・ミミカイツブリ・ハジロカイツブリ・カワウ・アオサギ・タンチョウ・ハマシギ・ユリカモメ・カモメ・シロカモメ・オオセグロカモメ・トビ・オジロワシ・オオワシ・ハイイロチュウヒ・ノスリ・アカゲラ・ハヤブサ・ハシボソガラス・ハシブトガラス・ハシブトガラ・ヒガラ・エナガ・ゴジュウカラ・カワラヒワ・アトリなど



オオハクチョウの親子
(鳥研部員撮影)

●こまば木のひろば

網走駅やバスターミナルよりも山側（農大側）にある，農大生の多く住む駒場地区を中心に広がる森林公園です。自然に溢れた園内には四季折々の草花が咲き乱れ、エゾヤマザクラをはじめとした様々な樹木を見ながら散歩やバードウォッチングを楽しめます。エゾリスやエゾモモンガ、キタキツネなどに会うこともあります。すぐそばに大きな道路が通り、住宅や商業施設が立ち並んでいるとは思えない，自然豊かな素晴らしい公園です。段丘上にあるためオホーツク海や知床連峰を一望でき，天気がいい日だと、写真のような光景を見ることができるともかもしれません。ぜひ足を運んでみてください。公園入口に隣接する「はぜや珈琲」さんで温かいコーヒーをテイクアウトし，ベンチで少しゆっくりするのもお勧めです。網走駅やバスターミナルから網走バス「駒場8丁目」下車，最寄りの入口までは徒歩約2分ですが，入口は複数存在しますので，下記のサイトから案内図が掲載されたパンフレットをダウンロードしてお出かけください。

こまば木のひろば <https://www.city.abashiri.hokkaido.jp/040shisetsu/050sports/420kinohiroba.html>

はぜや珈琲さん <https://hazeya-coffee.com/>

<学会期間に観察が期待される鳥>

トビ・オジロワシ・オオワシ・コゲラ・オオアカゲラ・
アカゲラ・ヤマゲラ・ハシブトガラス・キクイタダキ・
ハシブトガラ・ヒガラ・シジュウカラ・シマエナガ・
ヒヨドリ・ツグミ・マヒワ・ベニヒワ・シメなど

第二弾はこれで終わりです。次回は気軽に行ける、網走周辺の海鳥観察スポットをご紹介します。



こまば木のひろばからのオホーツク海
(鳥研部員撮影)